親交が深い教授の及川が、津南でいた縁で町

、ゴールに

は燕市の小女子は横浜んが総合優

ほ次の通り
12～18歳 笠
田）▽同19～
回）▽同36～
（燕市）▽同
和（横浜市）
（新潟市）
12～18歳 渡
▽同19～35
潟市）▽同
子（魚沼市）
田中友子（新
下恵（石川県）

を訪れるようになり、これまでもたびたび講演会などを開いてきた。今回は、町側の要請で住民らと膝を突き合わせて交流する機会として塾を開くことになった。及川さんが副塾長になる。

町の住民組織が主催者となり、環境や食などをテーマに塾長以外にも著名な講師を招く。子どもを対象としたキッズ塾も開く。

25日に津南町で会見した北野さんは「新しい価値観などもテーマになる。教える、教わるという関係ではなく、全人格的な触れ合いをしたい。健康が許す限り続ける」と意気込んだ。

年間3回程度の開催を予定。町の「竜神の館」を拠点に、毎回、町内外から40～50人の塾生を募集する。

交換
絡協

った。

県上越地域育大、県立衛隊高田駐40人が出席状況や家畜、各機関の。

テーマにし有護師が勤

川の水をく水期には湖電と農業のいたとして、1本の関するものだいた」と語

「多くの特残し、現存な水田なをつくってした。

務後に新幹線で上越に来て、夜間講座で高度な看護知識を学ぶ需要が考えられる。市が駅前に施設を造れば、サテライトキャンパスを出したい」（看護大）、「U、Iターンがどう変わるか見極める必要がある」（上越公共職業安定所）などの意見が上がった。「並行在来線など2次交通がどう変わるのか情報が少なく、議論の土台に乏しい」と、開業後の2次交通の想定を市に求める声も出た。

企業誘致へ
産業政策監

妙高市が設置へ

妙高市は30日、2015年春の北陸新幹線開業に向け、企業誘致活動に取り組む非常勤特別職の「産業政策監」を設置する方針を明らかにした。6月9日開会の市議会6月定例会で、関連予算案を上程する。

任期は7月1日から5年

にいがた News Network

2014.5.31 新潟日報

重 思い新た

越人権擁護委員協議会
会が27日、市内で開
妙高両市の委員ら約
社会的弱者の人権を尊
りへ思いを新たにし

動と人権相談の傾向
新潟地方法務局上越
3年の管内の相談件
年の658件より約300
の相談者数は平年並

同様、近所や家庭内
ブルに関する内容が
など学校関係者による
いう。
いった人権侵犯事件
件増）だった。参加
トフォンの無料通信
（ライン）上のやりと
がったケースも紹介

黒英進会長の留任が
1年。

農地保全へ〝団結〟

柏崎

高柳町荻ノ島集落と、流通業などの労働組合でつくるUAゼンセン県支部が25日、集落の農地保全に協力する協定を結んだ。同日には支部の会員や家族約50人が集落で田植えをした＝写真＝。

荻ノ島集落は、かやぶき屋根の民家が残る集落として観光客誘致や地域外との交流に力を注ぐ。一方で、人口減や耕作放棄地対策が課題。協定に基づき、同支部は集落の耕作放棄地での作物づくりや道普請などに協力する。

同支部には百貨店や食品加工業の労組も入っており、住民でつくる荻ノ島地域協議会の春日俊雄会長は「集落をPRする機会にもつなげたい」と強調。山阪光男支部長は「地域保全に貢献したい」と話した。

地域の安全に力を

妙高

妙高署は28日、交通安全や犯罪防止を呼び掛ける高校生セーフティーリーダーに新井高校の生徒8人を任命し、同校で委嘱状を手渡した＝写真＝。

セーフティーリーダーは同署が本年度初めて取り入れた。8人は生徒会執行部員の1、2年生。駅や街頭などで署員らと一緒に啓発活動に参加する。

委嘱式では加藤修署長が一人一人に委嘱状を手渡し「皆さんの協力は頼もしい。若い力で地域の安心安全をサポートしてほしい」と激励した。

リーダー代表の2年生、清水芽里衣（めりい）さん(16)は「みんなのお手本になるように努めるとともに、交通安全や防犯について勇気を出して注意していきたい」と語った。

山

魚沼

泉の交流
族連れら2
写真＝。

「山菜
ントでは、
奥只見郷
イチャー
イド2人
案内役と
り、道路
いや山の
面を散策。
ゼンマイ
コゴミ、
を探した。

参加者
うやって
ねながら、
横須賀市の

「天気も
菜はおひ
ていた。